



ユーカリが丘  
交通路線図

- 凡例
- 新交通システム: 山万ユーカリが丘線
  - 路線バス: 1系統  
ユーカリが丘駅北口～井野中学校北～ユーカリが丘7丁目～ユーカリが丘駅北口
  - 路線バス: 2系統 (イオンタウン経由)  
ユーカリが丘駅北口～宮ノ台6丁目～ユーカリが丘7丁目～ユーカリが丘駅北口
  - 路線バス: 3系統 (イオンタウン・宮ノ台6丁目経由)  
ユーカリが丘駅北口～宮ノ台6丁目～西ユーカリが丘2丁目～ユーカリが丘駅北口
  - 路線バス: 101系統 (イオンタウン経由)  
ユーカリが丘駅南口～西ヶ作公園～五番町ハイツ前～ユーカリが丘駅南口
  - 路線バス: 102・103系統 (イオンタウン経由)  
ユーカリが丘駅南口～西ユーカリが丘2丁目～宮ノ台6丁目～ユーカリが丘駅南口



愛称  
こあらバス

2020年11月7日(土)  
ユーカリが丘  
コミュニティバス

# 開業

いよいよ出発進行

ユーカリが丘コミュニティバスは、ユーカリが丘ニュータウンの中心を走る山万ユーカリが丘線を補完するため、周辺の住宅地や商業施設、福祉施設や病院などを結び、タウン内を網の目のように運行します。  
これにより、高齢者や子育て世代が暮らしやすく、社会参加しやすい住環境を実現し、日常生活における移動手段をシームレスに提供できるようになります。



▲山万ユーカリが丘線と同じく、ユーカリが丘マスコットキャラクター「ココ」と「ララ」を車体にラッピングしました。

## ユーカリが丘が目指すMaaS構想

山万ユーカリが丘線とコミュニティバスを相互に利用することが出来るよう、将来へ向けて乗降データの蓄積を行い、山万ユーカリが丘線の改札と連携させて顔認証を使った決済システムを具体化させる予定です。また電気バスから電動モビリティに至るまでを街全体としてシームレスに機能させてMaaS\*の実現を目指します。



※このCGイラストは構想段階のイメージです。具体的な建築計画などは未定です。また、計画内容については今後変更となる場合があります。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標

※【MaaS (Mobility as a Service)】  
地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせで検索・予約・決済を一括で行うサービスであり、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

バス運賃のご案内  
大人 (中学生以上) 200円 / 小人 (小学生以下) 100円

山万ユーカリが丘線で発行する有効期限内の定期券及び回数券により、バスにもご乗車いただけます。【2020年10月現在】  
TEL 043-487-5036

街づくり企業  
山万株式会社

# ユーカリが丘の独自交通への取り組み

「自然と都市機能の調和」を目指して開発を行ってきたユーカリが丘だからこそ、交通についても環境負荷の少ない持続可能な交通網（地域EST構想）の実現を目指しています。

1982年

## 新交通システム「山万ユーカリが丘線」運行開始

排気ガスを出さない公共交通機関で都市機能を結ぶ理想の街づくりのため、低騒音・無公害の新交通システムを採用し、民間企業としては戦後初の鉄道事業認可を受けました。



2009年

## 非接触型充電方式 / 電気バス実証実験開始（1回目）

環境に優しい街づくりの実現のため、早稲田大学と昭和飛行機工業と共同で非接触型充電方式の電気バスの実証実験を実施しました。



2010年

## 非接触型充電方式 / 電気バス実証実験開始（2回目）

所定のバス運行コース上であれば停留所以外でも好きな場所で降りることができる「降車オンデマンド方式」の社会実験を実施しました。



## 電気自動車によるカーシェアリングサービス開始

ユーカリが丘住民を対象に電気自動車によるカーシェアリングサービスを提供することで、移動手段を多様化し、マイカー所有に比べ環境負荷の低減を目指しました。



2013年

## ユーカリが丘コミュニティバス実証実験開始

山万ユーカリが丘線を補完する公共交通機関の導入に向けてスタート。数多くのお客様にご利用いただき、利便性を追求し続けてきました。



## 2020年 ユーカリが丘コミュニティバス「こあらバス」路線事業開始

# MaaSへの取り組み

目的地や時間によって、様々な交通手段がシームレスにつながり、子どもから高齢者まで、あらゆる世代がより使いやすい交通網の構築を図ります。



2011年

## ユーカリが丘アプリ配信開始

エリア内にある店舗情報・クーポンの配信、地域イベントのお知らせ、公共交通機関の時刻表情報の配信、周辺地域の病院情報の配信、行政発表情報の配信、災害時緊急情報等の生活支援情報の配信がワンストップで可能なアプリを提供しました。3月11日の東日本大震災発生時には、インフラ・交通機関の復旧状況や給水所・避難所の情報、店舗営業再開状況などのユーカリが丘に密着した災害情報を配信する中核システムとして機能しました。



2013年

## 分譲マンションにて「顔認証入館システム」を採用

顔認証による分譲マンションの入館システムを首都圏で初めて採用しました。



## 地域共通ICポイントサービス配信開始

ユーカリが丘アプリと連携し、各施設のポイントサービスを統合した地域共通ICポイントカードとしてサービスを開始しました。

2014年

2014年

## バス位置情報サービス提供開始

バスがいつでもどこを走っているのか、お手元のスマートフォンでリアルタイムに見ることができるため、待ち時間もストレスフリーで利用できるようになりました。



## 2021年 ニューノーマルの時代だからこそ顔認証技術を用いた「顔パス決済乗車」の実証実験を開始予定



スマートフォン等から事前に顔の登録とチケット購入をすることで、手ぶらで「顔パス」乗車が可能になります。手荷物で手が塞がっていても「顔パス」で楽々乗車。チケットやICカード等の紛失や忘れ物の心配も不要です。利用状況のデータも蓄積し・活用可能です。バスから鉄道へ展開してシームレス交通の実現を目指すとともに街中での利用へと広げ、「顔」を統合IDとして利用して利便性の高いサービス提供を目指します。